

(令和6年8月1日発表)

駿府楽市 ～特別展示～

第33回 木工家具・工芸品展の開催

◆ アピールポイント	素材を活かした手作り逸品家具&静岡の伝統工芸品を展示
◆ 日時・期間	2024年8月1日(木)～8月13(火)(前後半2部制) 9:00～21:00 (最終日17:00まで)
◆ 場 所	JR静岡駅 ASTY 静岡西館「駿府楽市」(葵区黒金町47)
◆ 内容など	不二工芸会は伝統的な技術を生かした手作り家具、工芸品を製造している職人を中心とした集まりで、現在、木工職人4人と陶芸しずはた焼、井川メンパ職人の計6名が所属しています。 素材を生かした手作り家具は独特の木のぬくもりをもち、生活に潤いを与えてくれます。昔より引き継がれた伝統的な指物技術を駆使し作られた作品は静岡の家具を代表する逸品揃いです。 陶芸の「しずはた焼」と漆塗のお弁当箱「井川メンパ」は静岡県郷土工芸品にも指定されています。 (出展者/内容) *前後半グループを分けて展示します。 8/7 夕方以降展示入替 前半(8/1～8/7): 平尾木工、^{ひらお}Hand Works Factory、しずはた焼 (家具木製品 約50点、陶器類約30点) 後半(8/8～8/13): 家具職人しのはら、kitoma 井川メンパ (家具木製品 約50点、井川メンパ約20点) 主催: 不二工芸会 (会長: 山内)

別紙資料 ☒ (出展者案内) イベントカレンダーへの掲載 ☒ ぜひ取材をお願いします。
詳細は <https://www.city.shizuoka.lg.jp/s2746/s013089.html> をご覧ください。



【イベントに関する問合せ】

駿府楽市特産品展示コーナー担当: 高須、青木
電話: 054-251-1147

【担当課】産業振興課地場産業係(ツインメッセ内)
担当: 藤澤、頭師
電話: 054-281-2100

<不二工芸会会員 紹介>

・家具製造

「平尾木工」/ 代表者: 平尾幸男

和洋家具、注文家具製造

和家具を中心に腰掛けや商標登録のオリジナル家具まで製作。

画像は人気商品のスツール。



「家具職人 しのはら」/ 代表者: 篠原史生

注文家具製造、家具修理

茶箆箆職人と鏡台職人、二人の親方のもと 12 年間の修業。

現在は独立をし、主に国内産の木材を使用して、和家具を基礎に

現代の生活に合った家具を製作。家具修理も多数手がけている。



「kitoma (きとま)」/ 代表者: 山内靖浩

無垢特注家具、オリジナル家具製造

Kitoma とは、木と間＝家具の材料【木】と、空間をあらわす【間】。

家具単体だけではなく、インテリアや現代の暮らしに合った、

生活に心地良い物作りに取り組んでいる。



「Hand Works Factory」/ 代表者: 久留聡

オーダーメイド家具、オリジナル玩具製造

シンプルな机、円卓、椅子を展示。ペーパーコード編みの椅子は、

夏涼しく、冬暖か、軽く、手で編んだクラフトの味わいがある。

体格や座り方に合わせてオーダーメイドができる。



・しずはた焼職人

「しずはた焼 秋果陶房」/ 代表者: 青島晴美

江戸時代初期から徳川家の御用窯として脈々を受け継がれる。

一昨年 6 月に「さくら陶板」を靖国神社に奉納。

代表作「鬼福」は賤機焼の源流となるもので、

表にお多福が描かれ、裏には鬼が刻まれている。



・井川メンパ職人

「井川メンパ製造 望月」/ 代表者: 望月栄一

2017 年に葵プレミアムでグランプリを受賞。

井川メンパは、檜の板材を曲げて、山桜の皮で縫い上げ、

漆を塗って仕上げた弁当箱。望月栄一は、家業を継ぐこと

6 代目のメンパ職人。伝統を継承する一方で、後継者の育成にも尽力。

